空町 で農業研修 東藻琴高校が

農業高校の生徒との交流を通じて、遠く離れた熊本の農業を学に訪れました。この研修は今年で5回目となり、町内農家や八代空町の東藻琴高校の2年生27人が、修学旅行を兼ねた農業研修9月25日から27日までの3日間、友好町提携を結ぶ北海道大

目目

される氷川町の14軒の梨・みか 対面式が行われ、受け入れを ん・い草農家と生徒らが対面し 立神峡里地公園で歓迎式

ろいろと質問っ 野)が、「農家はみんな心優しい 代表して、古閑浩治さん(中 人たちばかりです。自分からい んでください。3日間が皆さん 対面式では、受けて して、たくさん学 入れ農家を



▲受入農家さんと対面

願っています」と歓迎のあいさ にとって、思い出に残ることを

穫や箱詰め作業、い草原草の選 分かれて各農家を訪ね、梨の収 その後、生徒らはグル

農作業は貴重な体験となったに打ち解け、北海道とは違った農家の皆さんと生徒は次第別作業などの実習を行いました。





皆さんと一緒に、道の駅「竜北」 で食事をし、交流を深めました。

> い、にぎわいを見せていました。 また、大空町の特産品販売も



▲梨を箱詰めして出荷

▲吉野梨を販売



▲い草選別に集中

▲メモ帳づくりで八代農業高校生と交流



▲吉野梨の大きさにびっくり!

▲大幸さん (河原) での撮影風景、エキストラにも出演していただきました



生い立ち

光永 星郎

払う広告料を相殺することをから得る通信料と新聞社に支い、広告会社を設立し、新聞社に対し、広告会社を設立し、新聞社を設立と同時を開発している。

名が「株式会社電通」に改めら

現在に至ります

日の創立55周年記念日に社1955年(昭和30年)7月

終生の信条「健・根・信」

星郎は座右の銘「健・根・信」を

の信条とし、

「健」一番尊いものは健康であ

才能も知恵も健康でなけれ



レビドラマが、10月26日に放送されました。者である、「日本広告界の先駆者」光永星郎氏の生涯を描いたテ氷川町(旧野津村)出身で、日本最大の広告会社「電通」の創業

郷土の偉人シリ

△で放映

郎は日本電報通信社を興しま

907年(明治40年)、星

民の皆さんにも出演していただ撮影され、エキストラとして町

テレビドラマは町内各地で

くなど、ご協力をいただきまし

た。ここでは、撮影風景の一部を

電通」の誕生

リテ

ビドラマ

エの

ここでは、光永星郎氏の生涯とテレビドラマの撮影風景を紹

広告界の開拓

社となりました。

の世界通信社に対抗する通信 信業務においてはロイター 社員数も300人を超え、通

など

には、国内外に3の支局を設置、

922年(大正11年)まで

一)と通信契約を締結するな

アメリカのUP(現在のUP

します

▲竜北果樹部会から出演者 に吉野梨を贈呈

▲まちつくり酒屋で会社設立のシーンを撮影

が原因で、記事の掲載が大幅に

想するようになりました。た経験から、通信社の設立

れていきました。

された校歌にも歌われ、現在は

(文中敬称略)

小学校(現宮原小学校)に寄贈

「健・根・信」は宮原尋常高等

変えたこの戦略により、日本広

それまでの公告業の常識を

るといった基本戦略を掲げます

なさ

主への支援サ

ービスを充実させ

軍記者として中国に向かいま

その後、日清戦争時には、従

が、この時に通信手段の不備

の道が閉ざされます

ますが、右脚の自由を失い、

そ

サービスの提供によって、広告サービスの無料提供、調査情報より安くすることや、意匠図案

学びました。

青年時代は、

軍人を目指

代郡野津村に生まれ、

、旧宮原町

うためには、特別な戦略・戦術本広告が大手業者に立ち向か

ば役に立たない

しかし、生まれたばかりの日 し、広告業を開始します。 年)に、日本広告株式会社を設そして、1901年(明治34

思い立ちました。

小屋に通い、野津小学校で

が必要でした。

そこで星郎は、手数料を他社

ならない

▲星郎の幼年時代を立神峡で撮影

努力・勤勉を長く続けなければ

「根」根気強く。言いかえれば

になるもので、約束は必ず守り、「信」信義は人間関係のもと

人から信用される人間になり

866年(慶応2年)、八

、道の駅

果場にそれぞれ分かれ、

道の駅「竜北」と吉野梨選

いて農業高校を訪問し、いままなたとて実習を行い、午

草 後 2日目

3 日 目

午前中は、

しょうが・みかん

のコースターを使ったメモ帳を

製作しました。

果と出荷の作業、販売を行いま

作業、吉野梨選果場では梨の選「竜北」では、物産館のレジでの

また夕食は、受け入れ農家の